



第14号
2018.8.30

昭和女子大学附属昭和小学校同窓会
「桜友会」
〒154-8533
東京都世田谷区太子堂1丁目7番57号

今年のテーマは、「53回生 2011年卒業 20歳のお祝い」
10月14日(日)に桜友同窓会を開催します。

今年53回生は、二十歳を迎えます。前校長小泉先生の唯一の心残り、2011年3月11日東日本大震災直後の53回生の卒業式でした。毎年恒例の卒業生の演奏もできず、謝恩会も中止になったため、寂しい卒業式となってしまいました。

そこで、今年の桜友同窓会で53回生の20歳のお祝いとを考えました。53回生のご家族も是非ご参加ください。

今年4月、昭和小学校長のバトンが、小泉清裕先生から柴田芳明先生へ引き継がれました。

桜友同窓会(総会)は、桜友会会員が一同に会する機会であり、同時期に学び遊んだ同期生だけでなく、上級生・下級生、そして恩師の先生方と交流する良い機会です。是非多くの会員の皆様にご出席いただきますよう、よろしくお祈りします。

合わせて、10回生(1968年卒業)の卒業50周年のお祝いも予定しています。

学年幹事の方へ… 同学年の多くの方が参加されるよう、ご協力お願いします。

桜友同窓会

日時 2018年10月14日(日)

11時～14時30分

会場 昭和女子大学学園本部館3階
大会議室

会費 一般 3000円
大学生・大学院生 1000円

53回生・中高校生 無料
(当日、受付でお支払い
ください)

参加申し込み

会報同封のハガキを、9月18日
までに返送ください。

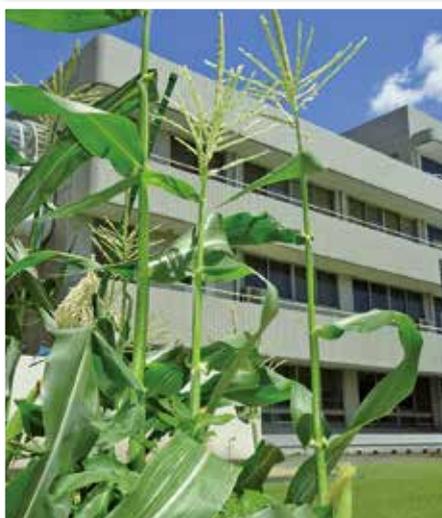


全員集合!
卒業50周年
記念品贈呈

同窓会出席の10回生の方全員に

10回生(昭和30年4月～31年3月生)の皆さん! 今年、初等部を卒業して50周年目の年です。卒業以来、正門から中に入ったことがない、という方もいらっしゃるかもしれません。また、昭和の中高大学と進まれた方も、初等部の仲間としての再会はまた懐かしいはず。この記念すべき年の桜友同窓会に参加して、発展した母校の様子をご覧になりながら、懐かしい会話に花を咲かせましょう。

10回生幹事代表 生天目淳子(藤伊)



学級園のトウモロコシ



2017の同窓会

ご挨拶

昭和小学校 校長 柴田芳明

はじめまして

昭和女子大附属昭和小学校校長の柴田芳明と申します。この4月に校長職を拝命いたしました。どうぞ、よろしくお願いたします。

私は附属校の中高部に33年間奉職後、昨年度までの2年間、初等部副校長として、子どもたちとともに、学んでまいり

ました。前小泉校長が中高部に勤務しておられた際、学級運営などを指導いただきました。そして、関西修学旅行に当時一緒に行った生徒が、いま初等部の学年主任をいたしております。学園ならではの感じるとともに、随分の年月（もう四半世紀ですが）が経ったものだと思っております。

私は、IT系の理系出身者です。学生の頃は、今流行りの、当時は、まだ奔りの人工知能を研究していました。ゲーム理論やプログラム自動生成などに興味を持っておりました。ワープロがまだ出回っていない頃で、

研究室の仲間が、漢字をディスプレイにどう表示するか一生涯懸命考え、作っていた時代です。今に繋がるコンピュータ機能の高速化・大容量化には、まだ全く無縁の時代でした。

2020年にスタートする新学習指導要領のプログラミング教育が話題になっています。かつて研究を積んできた分野であり、子どもたちの学びに何か生かしていければよいと思っております。

初等部は今

さて、1953（昭和28）年に初等部が設立されて以来、今日までに卒業生は5千名を超



なかよし像と登校風景



算数大会

え、日本各地や海外で活躍している卒業生も少なくありません。初等部は、2020年の学園創立100周年に向け、学習環境を整え、さらに南側校庭に大きな遊具を新設するなど、子どもたちの新しい学びと体づくりを推進していきます。このような恵まれた環境下で、現在650名あまりの児童と50名近い教職員が充実した学校生活を送っています。

創立者が掲げた建学の精神「世の光となるう」を、わかりやすく言い換えた昭和小学校・三つの目標「からだを丈夫に



柴田芳明校長先生

未来を見据えて

「まごころを尽くす人」「目あてをさして進む人」は、今も初等部に学ぶ者の基本的精神として、しっかりと受け継がれています。教科学習をベースにした総合学習や、東明学林・望秀海浜学寮での宿泊研修なども、時代の変化に合わせてながら実施されています。

いまの子どもたちは、平均寿命が100歳を超えと言われる時代です。つまり、ほとんどの子どもたちが、22世紀まで生きられるということです。この子どもたちにとって、21世紀という時代は、人生の中心な時間であり、活躍の場でもあることに間違いありません。今後、高齢化と少子化、グローバル化する社会、AIの活用による職業観の変化などは確実に進んでいくものと思われまます。そのような時代を生き抜く子どもたちに、いま何を教えていけばよいのか、学ばせていけばよいのか、その基礎を担う小学校の役割は、とても重要であり、また難しいものでもあります。いまから20年・30年後に、いま教えていることの中で、使える・役に立つことは、どれほどでしょ

うか。10年後、20年後になくなる職業は何かと言われていること以上に、その先にある時代にあった必要能力を、いま予想することは、非常に難しいように思います。

ところで、初等部で身に付けさせたい力は、様々な体験や経験を通じて、新しいことに出会い、知る喜びを感じ、さらに、もっと深く知りたいと思う、学びへの探求心であるといえます。そして、それは、アクティブ・ラーニングそのものである本校の総合学習の中で、さらに高められていくものと思っています。机上での学習を実生活と融合させる学びが、言わば、知識を知恵に変えていく過程で、自分の頭で考える発想力や創造力、また問題を解決していく能力を育てていくものと思います。これらの培われた力は、時代に依存しない柔軟性と汎用性があるので、創立以来、不易の学びとしての総合学習を行っています。

たくさん読むための

6月中旬、日テレ（4チャンネル）の夕方の番組で、本校のことが紹介されたのをご覧になった方は、いらっしやるでしょうか。

実は今年の3月末に、朝日新聞で、本校のランドセルに対する考え（ご承知のことかと思いますが、初等部でのランドセルの使用は、3年生から）、を紹介していたとき、そのニュース記事から発展して、テレビ取材に至りました。

1年生の子どもたちには、学校で使っている教科書を持ち帰らせず、お知らせ

や連絡帳、家庭学習（宿題）のプリントだけを持ち帰らせています。本校では、このような呼び方はしていませんが、教科書を持ち帰らないことをテレビでは、「置き勉」（置き勉強道具）の略語と言っていました。この言葉は、三省堂の大辞林にも載っている言葉のようです。

番組をご覧になった方は、お分かりと思いますが、置いて帰らせるのは、単純に教科書が重いからです。子どもは口には出しませんが、何も言わずに我慢していることが多いのです。甘やかしているようにも思われがちですが、子どもの体に大きな負担をかけずに持ち歩ける荷物の重さは、専門家の話によれば、体重の約15%以下にすべきと言われています。そこで、このような教育的配慮が必要だと考えています。教科書を持ち運ぶのはお父さんやお母さんではなく、子どもたちです。子どもたちの身体的な負担を軽減し、教科書を持ち帰らせずとも、家庭で学習するための十分な教材を準備すればよいことだと思います。

「すべては子どものために」を日々実践しています。

小さなことでも大切にします

年度初めに、毎年全校目標を発表し、一年の生活がスタートしますが、今年、「小さなことでも大切にします」を掲げました。これは、初等部の3つの目標のひとつ、「まごころを尽くす人」につながるものです。初等部は創立65年ですが、昭和学園は今年で創立98年。あと2年で創立100周年を迎えます。100周年

を迎えるシンボルマークも、この春には決まりました。昭和学園は、この98年の間、教育理念を変えることなく、歩んできた学園です。「世の光となるう」の学園目標は、こども園から初等部、中高部、大学とすべて一貫したものです。自分の周りにいる、その人たちの心を明るく元気にできる人、その人たちに手を差し伸べられる人になろうという学園目標のもと、それができる人になるために、「まごころを尽くす人」を目指そうということ今年目標に掲げました。

大きなこと、重要なことは、誰でも大事にします。しかし、些細なこと、小さなことは、時として、どうでもよくなって見逃されたり、忘れられがちです。その小さなことが積み積もって、知らず知らずうちに、大きなマイナスになってしまいうこともあります。逆に、一つずつ積み重ねることによって、大きなプラスになることもあるのではないのでしょうか。

例えば、廊下に落ちていた小さなゴミひとつ。拾ってゴミ箱に捨てるという行動がたった1回では、何かが大きく変わることはないでしょう。しかし、落ちていたゴミを見つけた度に拾っていたとしたら、目には見えないよい習慣となつて身につくのではないかと思っています。



6年校外学習

とても地味な今年目標かもしれませんが、子どもたちと共に取り組んでいこうと思っています。

元気で優しい子どもたち

私にとつての初等部一日は、朝の校舎見回りから始まります。校舎東にある階段を上っていき、踊り場で円吉先生と楠郎先生にご挨拶。階段の段数は、1階と2階の間にある踊り場まで13段。4階までは、6倍の78段と規則的になっています。各階の廊下の壁は、様々な情報と

児童作品の展覧会場です。各階を回り、1階のセンターホールで、教室に入るのを待っている子どもたちに、「おはようございます」と声をかけます。昨日から今日にかけてあったことを、子どもたちは次から次へと話してくれます。こうした朝のおしゃべりを通じて、子どもたちと元気を交換しています。若い子どもたちに気持ちだけは負けまいと必死です。「柴ちゃん」と親しげに話しかけてくる子どもや、スキンシップを求めてやって来る子どももいます。朝だけに限らず、できるだけ大勢の子どもたちとの触れ合いを大切にしています。

先日、講師の先生の書写の授業を参観しました。子どもたちは、七夕飾りにつきかう五色の短冊作りに励んでいました。墨汁をほんの少しだけ用意して、小筆の使い方の練習です。どんな願い事を書くのか、興味があつたので、覗いてみると、家族について、「皆がずっと長生きできますように」「皆が幸せになれるように」というように、自分への願い事ではなく、家族を思いやる作品が多くありました。そして、結びつける紙繕りも付け、書きあがつたといつて見せに来てくれた子どもの作品には、「やさしい人になれますように」と、しっかりと文字で書かれています。「願い事は必ず叶うよ!」と心の中で思いながら、そつと教室を出てきました。初等部で子どもたちに育んでもらいたいことが、少しずつ身につけていることを思い、温かい気持ちになりました。

学年幹事会

桜友会副会長 大野 あや子

5月27日(日) 第9回学年幹事会が開催されました。

住所・氏名がわかっている幹事総数99名にご案内を差し上げ、返信は44通、出席は役員を含め24名。今回は、欠席の場



11 回生学年幹事会

合、代理の方をとお願いしましたが、残念ながら出席者増には至りませんでした。また、出欠の返信も半数以上なく、どうしても出席いただけるとかが課題となりました。出席された幹事のかたからは

・ 日曜以外の日に開催したらどうか

・ 学年幹事に限らず、出席出来るようにしたらどうか
 など、ご意見をいただきました。また、年間の行事については、

・ こどもから大人までが楽しめるイベント(フリスビー、ドッジボールなど)
 ・ 活躍している卒業生の観劇を見に行く

・ SNSやFacebookなどを活用して、若い世代に発信していく
 など、たくさんのご提案をいただきました。

幹事会のあとの懇親会では、今年度より校長になられた柴田先生にお越しいただき、現在の初等部について、色々お話をしていたいただきました。

ご出席いただいた幹事の皆様、ありがとうございます。今回出席いただけなかった幹事の皆様、来年お待ちしています。幹事の皆様のご意見・ご提案をもとに、桜友会がますます発展していくことを願っています。

11回生同期会

瀬村 寿美男



11 回生学年会

去る2017年10月1日校友会総会終了後、1969年卒業生だけの同窓会を小学校1年〜2年時の担任であった黒田先生をお招きし開催いたしました。前々から準備していたわけではなく準備期間1か月で急な連絡となってしまうましたが、当日18名の参加をいただき、懐かしい話に花が咲き、二次会も合わせると計約6時間、皆で時間を共有いたし

ました。勤務先で翌日「昨日小学校の時の同窓会を開いたんだよ」と同僚に伝えたら、「え?!小学校の?」とびっくりされました。世間的には小学校の同窓会など開かないのが普通なのですね。今更ながら改めて昭和小学校の横の繋がりの強さを感じる次第であります。

〈寄稿〉



長井文子

宮田さんの文部科学大臣賞のお祝いの会で、笙の演奏から始まり、記念撮影をした後乾杯をしてクラス会が始まりました。

会を仕切ったのは大学の先生、当然のように席替えがあり全員とお話することが出来たのは嬉しいことでした。60歳を十分に越えていますのに、初等部時代と変わりなく4時間があつという間の楽しいひと時でした。

皆が健康でいること、そして次回会えることを約束して会を終りました。



8回生同期会<2017年7月1日 三軒茶屋にて>

2017年度(平成29年度)収支決算報告・2018年度(平成30年度)収支予算案

会計期間：2017年4月1日～2018年3月31日(予算案については2018年4月1日～2019年3月31日)

科目	予算	決算	差し引き	H30年度予算案
収入の部				収入の部
入会金	1,000,000	1,300,000	300,000	1,000,000
年会費/寄付	700,000	789,298	89,298	800,000
総会・懇親会参加費	200,000	137,000	-63,000	150,000
バザー売上・寄付等	300,000	323,403	23,403	300,000
銀行利息/利子	500	1,519	1,019	500
その他入金			0	
計(A)	2,200,500	2,551,220	350,720	2,250,500
支出の部				支出の部
会報(作成・発送)	700,000	744,552	-44,552	700,000
総会・懇親会参加費	400,000	263,982	136,018	1,000,000
幹事会	100,000	68,453	31,547	100,000
ホームページWebサイト	170,000	168,480	1,520	170,000
事業費(昭和祭・運動会等)	300,000	355,896	-55,896	400,000
通信費	70,000	57,891	12,109	70,000
事務費	150,000	30,158	119,842	50,000
会議費	50,000	3,146	46,854	50,000
予備費	150,000	20,108	129,892	150,000
計(B)	2,090,000	1,712,666	377,334	2,740,000
当期収支差額(A-B=C)		838,554		-489,500
前年度繰越金(D)		9,804,880		10,643,434
来年度繰越金(C+D)		10,643,434		10,153,934

前年度繰越金		預金明細	
現金預金有高	9,804,880	ゆうちょ銀行定額定期	2,002,543
		ゆうちょ銀行通常預金	6,381,781
		みずほ銀行普通預金	2,219,766
		現金	39,344
合計	9,804,880	合計	10,643,434

合計金額の内、500万円は記念事業積立金です



那古バスツアー

1回生原一恵、11回生大野あや子、 18回生関口明子、4回生鍋木順治郎

昨年の同窓会のテーマは「思い出の那古」でした。それを実現できる日が今年の2月17日土曜日ついにやってきました。

早朝にも拘らず小泉校長先生がわざわざ見送りに来て下さったこと、楽しい日の始まりとして大変感激しました。出発前に、参加者全員が当時に思いを馳せながら、学園本部前で一枚目の写真を撮りました。

私たちを乗せたバスは定刻の8時、昭和女子大本部前を那古へ向け出発しました。

「そういえば4年生当時（1959年昭和34年）、臨海学校は東京港竹芝桟橋から館山（勝山）まで船で行ったのだ」ということがフラッシュバックのように蘇ってきました。大型船に乗るのは初めてのこと、数日前から胸をときめかしていました。その日の早朝、私の母、隣の友人とお母さんとでタクシーで竹芝桟橋に向かいました。当時の東京港一帯は工場が立ち並んでいましたが、第二次大戦後まだ14年、爆撃で焦げた建物など戦災の傷跡も残っていました。そんな光景を見ながら、友人と私は臨海学校に胸を膨らませながら語り合っていたと思います。タクシーは竹芝桟橋に到着し、私たちは集合する建物の中に入っていました。ところがその時、自分が持つて

きたリュックサックが無いことにはつと気づきました。私は途方に暮れるということに初めて体験しました。タクシーは既にどこかに行ってしまう、どうすることもできません。当時はまだタクシー無線や携帯電話などはなく、行ってしまうタクシーに連絡する手段は全くありません。ただ、母は意外と落ちて置いて、リュックが無くても何とかなる、というような顔をしていました。私が動転していたのをなだめようとしていたのかもしませんが、私は入ってきた入口の方をただ眺めるしかなく、折角臨海学校に行くというのに消沈しきっていました。かなりの時間が経過しよう船に乗らなければならぬと思った瞬間、建物の入口からすらつと背の高い男性が私のリュックを持って入ってくるではありませんか。

タクシー運転手さんはまさに救世主、私の人生でこの時ほどほっと胸をなげ下したことはありませんでした。今回の那古バスツアーが無ければ、一生思い出すことは無かった出来事でした。（4回生・鍋木順治郎）

バスは三軒茶屋の首都高入口から大橋ジャンクションを経て、湾岸線からアクアラインに入りました。海ほたるで途中休憩し、デッキに上って海をながめましたが、空気は澄んでいて気持ち良かったものの、春もやがて遠くのものは何

も見えませんでした。小学校時代船で東京湾を航行した時は、夏ということもあつてか横浜や館山がはつきり見えたような気がします。

バスはアクアラインを渡り、館山高速道路を鋸南富山で降り、国道127号線に入ると春の訪れを告げる菜の花畑が左右に広がっていました。もう一つ春を告げる河津桜（南総里見八犬伝にちなんで館山では「里見桜」と言うそうです）が丁度満開で、車窓からお花見ができたのは想定外の幸運でした。館山に近づくとつれて両側がヤシの大木の並木道となり、南国ムードも漂ってきて那古はもうすぐです。

10時頃坂東三十三号結願寺である那古観音に到着、表門から中に入りました。ここでも桜が満開で、お花見を楽しみながら、里見八犬伝に因んだお寺だという案内板を横目に見て本堂に向かいました。小学校のときは裏手から急な階段（数えたら73段でした）を上ってきたので、ただフウフウ言うだけでしたが、表門からゆつたりとした坂道を上っていくのはお寺の趣がだんだんと濃くなり風情がありました。上って行くと地元の中学生の校外学習と一緒に、小学校当時もこんなだったかな、と思い出しました。坂を上り切り本堂の脇を抜けると、那古の海が一望できました。



本部前で全員集合

「今回の、バスツアーで是非訪れたかった場所は、大和屋旅館。周辺でした。那古観音で集合まで時間があつたので、なんとなく海の方に向かって歩いていきました。どの辺だったかは、全く覚えていなく、ただ勘だけでした。途中、たまに家の外にいらした方に、大和屋旅館を聞いたところ、場所を教えてくださいました。今はもう旅館はないけれど、ご家族の方が住んでいらつしやるのとこのでした。たしかに、旅館は跡形もなく、

住宅が建ち並んでいました。でも、その先には那古の海が広がり、遠泳で目指した燈台もありました。浜辺はだいぶ変わっていましたが、那古で過ごした懐かしい記憶がよみがえってきました。いまままで、ずっと気になっていた那古の海を見るのが出来て、ツアーに参加して本当によかったです。11回生・大野あや子「うちわ片手に列を組み、大和屋さんから那古観音まで歩いた時間がどれだけだったか思い出せず、実際に歩いてみました。こんなに近かったかな?と。そして急な階段をのぼって広がる境内が、ここで全員で盆踊りを踊ったのかあの頃はとても大きく感じていたのに、少し狭くも感じました。わたしはこんなに成長したのに、いつまでも変わらずに佇む那古観音にまた寄ってみたいですね。18回生・関口明子」。

那古観音で1時間ほど散策した後、海鮮食堂で普段あまり味わえない新鮮な魚介類を思う存分食べました。皆の話も盛り上がり和気あいあいとなった頃、今回のメインテーマである望秀海浜学寮を訪れました。望秀海浜学寮は1986年(昭和61年)に竣工、敷地面積21千㎡、校舎、寮、体育館などの建物が7千㎡、300名が一度に宿泊できる大きな施設で、大変恵まれた環境のもとにありました。遠くに富士山も望めました。「秀き理想を望みつつ励む」の思いがこめられた「望秀海浜学寮」を見学させて頂きました。管理の先生からご案内頂いた館内は隅々まで清掃が行き届き、広々としたダイニングルームや1室16名宿泊可能で機能的な部屋、今すぐにもスポーツが楽しめる体育館、潮風が心地

よいテニスコート、3階の眺めの良い教室等、いつか同窓の仲間と訪れてみたいと思いました。また、教室から見渡せる鏡ヶ浦の景色も素晴らしいものでした。1回生・原一恵」。「4年生の臨海学校、次の日に帰るのでお風呂に入る前にもう一度泳ごう、ということでも百木先生と男子生徒数人が残って泳ぎました。そして私は500m以上泳ぎ切ることが出来ました。その日の夕食のとき、百木先生から「鏑木君を1級にします」と言われたとき、何と誇らしかったことか。4回生・鏑木」1時間ほど見学した後、今度は最後の訪問地「いちご狩り」のハウスに行きました。「人生初めてのいちご狩り。甘いミルクを手を持ち赤いいちごを探してはもいではおぼる自分は、子供に返ったように

笑顔になりました。50ヶは食べたでしょうか。18回生・関口」。皆が満腹になるくらいイチゴをほおばり、これ以上の満足感は望めない、というところでいちご狩りも終了、バスは一路東京を目指して高速道路を走りました。アクアラインの海ほたるでは、朝もやがなくなっていてディズニードヤ横浜のランドマークタワー、鋸山などが一望のもとに臨めました。東京に入ると、スカイツリーが金色に輝いていました。ちょうどこの日は、羽生結弦選手が平昌オリンピックで金メダルを取った日でした。天候にも恵まれたこともあり、訪問する場所ごとに昔の思い出が蘇り、参加者それぞれが懐かしい小学校時代に思いを馳せた一日でした。



那古観音本堂



那古観音階段



大和旅館あと



望秀学寮正面玄関



望秀学寮からの眺望



いちご狩り

第26回 昭和祭

「秋桜祭」

テーマは **カラフル**

2018年11月10日(土)11日(日)

今年も小学校1階に
桜友会談話室を設
けます。是非ご利用
下さい!

去る2017年11月11日・12日の昭和祭に際しましては、会員の皆様の桜友会バザーへのご理解、例年同様のお手伝いと商品をご寄付いただきましたことに、心より御礼申し上げます

前回6回目を迎えました桜友会バザーは、一昨年同様、初等部2階西側のワゴンルームの一部と間口3m×奥行13mという広い渡廊下で行われました。ワゴンルームでは、第一回から参加して下さっている17回生・21回生の姉妹が作る美しい刺繍入りの手提げ、マフラー、エプロン、等々の売り場とし、渡廊下手前半分では、桜友会会員よりご寄付いただいたプラモデル、フィギュア、髪飾り、陶器類、タオル、スマホケース、

バザー実行委員長 大石

恵津子

3回生



リサイクル子供&大人服、バッグ類等、そして奥側半分は子供たちのゲームコーナーといたしました。

昨年、役員家族手作りのピンボールゲーム2台とじゃんけん大会に、初等部をはじめ幼稚部の子供たちが押し寄せ、歓声をあげてはお目当ての賞品を目指してがんばる姿に、役員初めお手伝いの会員全員が元氣と幸せをたくさんいただきました。

すっかり定着した「桜友会バザー」は、唯一卒業生と在校生の直接触れ合いの場であり、やがて桜友会の会員となる在校生にも「母校への感謝と末永い発展を願う」卒業生の一員として母校の行事に参加する楽しさを感じていただける良い機会になって参りました。これはひとえに、初等部の先生方、ご来店くださいました初等部、幼稚部、そしてご父母の皆様、準備や販売員として協力してくださった桜友会会員の皆様のおかげと感謝の



桜友会バザー

たしております。前回は、一昨年ゲームコーナーが大好評だったことを踏まえ、ゲームコーナーを拡大し、賞品を沢山仕入れ、その他会員からご寄付いただいた商品を思い切った価格にて販売した結果、二日間合計278,403円の総売上となりました。

本売上金及びバザーのためにお寄せいただいた御寄付金合計145,000円の合計423,403円から商品仕入代金及び諸経費合計213,459円を差引いた209,944円を、初等部創立70周年の御祝金とするべく積立金とさせていただきます。

今年の第26回昭和祭バザーにつきま

しては、会員・学年幹事の皆様からのご意見を大切にしながら、更に「桜友会らしい、楽しいバザー」を開催したいと思っております。今後とも桜友会の活動にご理解とご協力を賜りますよう、引き続きよろしくお願ひ申し上げます。

◇同期会・クラス会に補助金1万円!

桜友会では、10名以上の同期会・クラス会に、その会費の補助として1万円を差し上げております。幹事の方は桜友会までお申し出ください。尚、幹事の方は会報に掲載する記事と写真をお送りください。桜友会員の皆様からのお申し込みをお待ちしております。

◇会費納入のお願い

毎年、2000円の会費納入をお願いしております。郵便振替用紙を同封してありますのでご利用ください(手数料のご負担もお願いいたします)。恐れ入りますが、お名前、何回生(又は卒業年)、住所、Eメールアドレスをご記入ください。尚、すでに今年度分を納入済みの方にも振替用紙を同封しております。また、過去の会費は徴収しないことになっておりますのでご了承ください。

桜友会 ホームページ

- ◎アドレス◎
<http://showa-ohyukai.jp>
- ◎検索◎
「昭和小学校 桜友会」
- ◎QRコード◎



桜友会 連絡先

メールアドレス: ohyu@swu.ac.jp
FAX番号: 03-3487-6850